

谷急沢から谷急山

T. A

◎山行日：2019. 9. 26 日帰り 単独

◎天気：晴れ

◎ルート：国民宿舎裏妙義駐車場～谷急沢～谷急山～三方境～国民宿舎

妙義方面は、10年ほど前烏帽子沢に行ったきりで、国民宿舎が閉館になっていることも知らなかった。谷急沢を登ったのはさらに前であるが、気持ちよく遡行でき、谷急山もとても良かった記憶がある。今回も充実した山行になることを期待して計画した。



国民宿舎の駐車場から林道を20分ほど歩き深沢橋から沢に降りたところが入渓点である。

仲木沢とあまり差がないのでわかりやすいというか、分りにくいというか・・・。

【谷急沢遡行】

歩き始めてすぐに5mほどの滝が出てくる。この滝は、右側をへつって右壁を登った。じきに二俣となり左俣を進んだ。ここからは釜を持った小滝やナメが多く現れ、快適に登ることができ楽しいところである。結構大きな釜がいくつかあったが、夏の暑さだったので積極的に水に入り取り付くことができた。

(一カ所うまくいかず巻いて通過した)

小滝が一段落するころ中俣付近から大遠見峠への道(女道)に出会う。道標はしっかりしていたが、道自体はどうなのだろうか。中俣を過ぎるとナメが続き、休憩をはさみながらのんびり歩いた。ほどなく奥の二俣に到着。



谷急沢出合



最初の5m滝



奥の二俣



巻いた滝

奥の二俣からはかつては右沢を行ったので今回は左沢を選んだ。小滝が続き思ったより楽しく進んだが、ツメで岩に阻まれたり楽なほうへ適当に登ったりしたため支尾根に出るまで時間がかかってしまった。支尾根は思った以上の岩尾根で、踏み跡等はほとんど見当たらなかった。岩場を乗り越えなければならぬところもありルートどりなど面白かったが、沢の遡行よりかえって緊張した。

谷急山への主稜線に出てほっと一息。あとは特に問題なく頂上に到着した。

【下山】

谷急山の山頂は展望もよく沢靴など履き替えながら時間をかけて昼食をとった。天気も良かったので、上信越道をはじめ周りの山がよく見えた。恩賀にある高岩方面もよく望め、もう一度行ってみたいという気持ちにさせられた。

下山は急であるがかつてより道標が多くついているように感じた。沢のツメから稜線へのアルバイトでだいぶ足にきていたが、道ははっきりしているので意識的に休みを入れながらゆっくりペースで国民宿舎の駐車場まで歩いた。

(登山者は出発の時一人見かけただけで、歩き始めてから下山まで一人も会わなかった)



丁須岩方面



上信越道

*補足：大遠見峠辺りから右俣を下降するのも良いかもしれないと思った。

<コースタイム>

林道・・・国民宿舎駐車場 818→深沢橋（入渓点）845～905 谷急沢・・・出合 905→二俣 925→女道 953→奥の二俣 1024→支尾根 1156→谷急山への尾根 1215→谷急山山頂 1230～1300 谷急山からの下降・・・山頂 1300→大遠見峠 1405→三方境 1415～25→国民宿舎 1540

(了)